

令和5年度 第2回 長野市歴史的風致維持向上協議会

会議記録（概要）

日時：令和5年10月18日（水）

午前10時から午前11時まで

場所：長野市ふれあい福祉センター4階 会議室

●出席委員 9名

高見澤会長、小林委員、土本委員、若山委員、長尾委員、古畑委員、徳武委員、北澤委員、藤沢委員

●代理者出席 1名

岡田委員代理者（西山指導主事）

●欠席委員 5名

宮下職務代理者、石黒委員、久米委員、清水委員、金子委員

1 開 会

定足数の確認

2 挨 拶

3 協 議

(1) 長野市歴史的風致維持向上計画 最終評価シート（素案）について

・説 明	事務局：資料1により、『長野市歴史的風致維持向上計画 最終評価シート（素案）について』説明。
・質 問 （委 員）	資料1「P29～30（様式7）住民評価」について、135件の回答者は、主に地区役員でしょうか。
・回 答 （ 市 ）	重点区域の9地区ごとに、住民組織である住民自治協議会の総務部会等で、第2期計画の概要説明と併せてアンケートをお願いしたため、回答者は主に地区住民を代表する区長や地区関係役員です。
・意 見 （委 員）	そのためか、具体的な意見の中には、大変厳しい御意見も頂いているが、この住民評価に基づいて、協議会としての意見をまとめるものなのか。
・回 答 （ 市 ）	住民評価でのアンケート回答のみならず、例えばP10の様式3「ii 市民の歴史・文化に対する関心の高まり（R3まちづくりアンケート）」等も含めた最終評価全体を踏まえて、協議会の意見としてまとめていくこととなります。

(2) 長野市歴史的風致維持向上計画（第2期）【素案】について

・説明	事務局：資料2により、『長野市歴史的風致維持向上計画（第2期）素案 について』説明。
・質問 (委員)	「地域と大学生との連携」との説明があつたが、その他、地域との連携に関する具体的な事例がありましたら、教えて欲しい。 また、第1期計画で芽生えた連携を、第2期計画で充実させる方策や考えがあれば、併せて教えて欲しい。
・回答 (市)	第2期計画策定に当たり、改めて各重点区域を周り、地域の方々に話を聞きしたところ、各地域で様々な活動がなされていることを、学び直しました。鬼無里地区では観光振興会との連携による情報発信、大学生の協力による祭礼の実施、善光寺地区では、ながの祇園祭屋台巡行や御柱祭などでの学生や地元小学校との連携、松代地区や若穂川田地区では、地域の住民が自主的に活動し、地域の歴史的資産を活用する活動の実施、戸隠地区における住民主体の伝統的な建造物や技術を継承する活動など、各地区で地域の歴史や伝統を継承し、さらには広く共有しようという活動がされています。 第2期計画では、そのような活動を情報発信し、広く知っていただくことで、他地域にも波及するものと考えており、この点が、今後の計画では重要なポイントになってくるものと捉えています。今後については、関係団体の皆様と協力して進めていきたいと考えております。 また、第2期計画策定に併せて、分かりやすい第2期計画の概要版を作成し、多くの皆様に本計画を知ってもらい、関心を持っていただければと考えています。
・意見 (委員)	今の説明の中で話がありましたが、職員が現場に足を運び、話を聞いてくれるだけで関係者は励みになる。このような行政の協力の大切さを感じた。 また、祭礼や行事の際に、学生や小学校と繋がるのが、若い世代の歴史や文化に関心をもつ良い機会を作り出すことにもなる。
・質問 (委員)	第2期計画での松代地区の2事業について何う。 1つ目は、(5)－1「松代町文化財保存活用推進事業」に関して、事業概要欄に「真田宝物館の建て替えを含めた、」とあるが、現段階で具体的な建て替えに関するスケジュール等があれば教えて欲しい。 2つ目は、(3)－3「旧松代駅跡地周辺環境整備事業」に関して、旧松代駅舎の対応、例えば図面保存や一部の部材保存などが考えられるが、現時点で具体的な考えなどがあれば、教えて欲しい。
・回答 (市)	1つ目の(5)－1「松代町文化財保存活用推進事業」での真田宝物館の建て替えについては検討事項ではあるが、多額の費用が掛かることから現時点では決定しているものではありません。建て替えの前段として、事業

計画作成などのできるものから進めていく手順では考えています。

・回答 (市) 2つ目の(3)－3「旧松代駅跡地周辺環境整備事業」での旧松代駅舎の対応についても、具体的な対応内容など、現時点で担当部署から聞いておりません。今後、地域住民への説明等の中で、より良い方向を見出せるよう努めていきたいと考えております。

・意見 (委員) 旧松代駅舎は貴重な建造物であり、壊すべきではないと思う。

・回答 (市) 旧松代駅舎の対応については、地域の皆様や委員の御意見を踏まえて、良い解決策を見出せるよう関係課と連携を図ってまいります。

・意見 (委員) 計画(素案)277ページ、事業(4)－3「公民館・交流センターでの歴史講座事業」について、座学だけでは限界があるため、フットパス、まち歩きを行い、現地を見て歩くことが大切だと考える。

良い事例として、駒ヶ根市のフットパスもあるので、本事業もまち歩きまで拡大して実施することが良いと考える。

・回答 (市) 地区によっては、「史跡めぐり」などの講座を実施している公民館もある。委員から頂いた御意見を参考にしながら、第2期計画での取り組みを考えていきたいと思えます。

・意見 (委員) 市内の全地区でフットパス・マップを作成し、多くの人に地域を歩いて周ってもらえるよう期待する。

・意見 (委員) 先ほどの説明にあったように、地区によっては史跡や地区内の名所などを歩いて周る講座を実施している。安茂里地区では、「ぶらアモリ」と題して、史跡だけでなく企業なども周るものも実施している。

このような取り組みが、横の繋がりで、自地域だけでなく他地域も訪れるなど、広がりが生まれれば良いと考える。

・意見 (委員) 鬼無里地区では、フットパス・マップを作成し、イベントとしても実施している。イベント参加者は、毎回定員いっぱいの状況であり、また、個人観光客もマップ片手に地区内を散策する姿が見られるようになった。そのようになることが、鬼無里の観光振興、地域活性化になると考えるので、ぜひフットパス・マップ作成促進や他地区への広まりについて、第2期計画に位置づけて、取り組んでいただくことを期待する。

・回答 (市) 委員の皆様から頂いた御意見は、関係課と研究を重ねて、できるところから取り組んでいきたいと思えます。

(3) その他

・説明	事務局：資料3により『令和5年度協議会スケジュール』説明。
・意見等	なし

4 閉 会